



単位:mm

対象品	呼び径	D			t	ts	近似内径	L±10	参考質量 (kg)
		基準寸法	最大・最小外径の許容差	平均外径の許容差		内層・外層厚さ(最小)			
	40	48.0	±0.3	±0.2	3.6 $\begin{smallmatrix} +0.8 \\ -0 \end{smallmatrix}$	0.3	40	4000	1.8
	50	60.0	±0.4	±0.2	4.1 $\begin{smallmatrix} +0.8 \\ -0 \end{smallmatrix}$	0.3	51		2.5
	65	76.0	±0.5	±0.3	4.1 $\begin{smallmatrix} +0.8 \\ -0 \end{smallmatrix}$	0.3	67		3.3
	75	89.0	±0.5	±0.3	5.5 $\begin{smallmatrix} +0.8 \\ -0 \end{smallmatrix}$	0.4	77		5.0
	100	114.0	±0.6	±0.4	6.6 $\begin{smallmatrix} +1.0 \\ -0 \end{smallmatrix}$	0.5	100		7.8
	125	140.0	±0.8	±0.5	7.0 $\begin{smallmatrix} +1.0 \\ -0 \end{smallmatrix}$	0.6	125		10.4
	150	165.0	±1.0	±0.5	8.9 $\begin{smallmatrix} +1.4 \\ -0 \end{smallmatrix}$	0.7	146		15.4

備考 1. JIS K 9798規格品

- 最大・最小外径の許容差とは、任意断面における外径の測定値の最大値及び最小値（最大・最小外径）と基準寸法との差をいいます。
- 平均外径の許容差とは、任意断面における互いに等間隔な二方向の外径の測定値の平均値（平均外径）と基準寸法との差をいいます。
- 内層・外層厚さは、管の任意断面における相互に等間隔な4箇所での測定値の平均値をいいます。
- 管の外層、内層の色は灰青色で、その材料は、JIS K 9798 に定められた未使用ポリ塩化ビニルを主体とし、良質な安定剤等を加えた材料及び再生ポリ塩化ビニルとします。
- 管の中間層は JIS K 9798 に定められた硬質ポリ塩化ビニル管・継手類から作られた再利用ポリ塩化ビニルを主体とした材料とします。再利用ポリ塩化ビニルの使用率は30%以上です。
- 許容差を明記していない寸法は、参考寸法です。

図名	リサイクル硬質ポリ塩化ビニル 発泡三層管(RF-VP)	図番	2001-00-00 
株式会社クボタケミックス		年月日	2021.2.17 O